

斜面防災技術(ユニット式金網型枠による吹付法枠工)の普及・実証事業

小岩金網株式会社(東京都)

スリランカの開発ニーズ

外務省・JICAの援助方針

【自然災害に対する脆弱性への改善支援】

- 自然災害(地すべり)に対する脆弱性の改善
 - 防災能力強化に向けた政府の体制整備
 - 予防対策による被害軽減の取組み
 - 防災総合力(技術力、防災意識等)の発展
 - 防災体制の確立と防災対策の導入
- 【課題】
- 掘割式吹付法枠工での斜面防災対策は小規模崩壊程度が限度
 - 乾式吹付機による吹付モルタルの強度バラツキ
⇒ より高度な斜面防災技術の普及

普及・実証事業の内容

ユニット式金網型枠による吹付法枠工を用いた斜面防災技術の普及・実証

- 日本では広く普及実績のあるユニット式金網型枠をスリランカに導入して適用性・普及性を検証
1. 本技術の普及活動
 - ・セミナー・施工見学会等の開催
 - ・設計・施工マニュアルの紹介・技術移転
 2. 本技術の適用
 - ・実証試験施工(候補地あり)
 3. ビジネス展開調査
 - ・パートナー企業との協力体制構築
 - ・製品供給体制の確立

提案企業の技術・製品

ユニット式金網型枠による吹付法枠工



- 金網型枠はクリンプ金網を使用し、変型自由・軽量で作業性良好
- 金網型枠をユニット化し組立効率向上
- 多様な枠断面サイズを選択可能
- 金網型枠はメッキ加工され、耐久性向上
- 金網型枠は吹付モルタルに埋設され、解体作業不要

事業概要

相手国実施機関: NBRO(国家建築研究所)
事業期間: 2016年9月～2018年8月
事業サイト: キャンディ看護学校下部斜面

スリランカ側に見込まれる成果

- 斜面防災技術ラインナップの追加・補強
- スリランカ国の国土保全(土砂災害の軽減)
- 土砂災害軽減によるインフラ被害や物流損失などの低減(経済損失の低減)
- 土砂災害軽減による安全・安心な生活環境の提供

日本企業側の成果

■現在

- 全国各地の工場にて雇用を創出

■今後

- スリランカでのユニット式金網型枠の販売ビジネス創出(売上貢献)
- 生産量増による国内雇用の創出
- スリランカに適した斜面防災の工法、資材の開発に関する情報取得(次の展開商品の開発)
- 自由貿易協定(FTA)締結先であるインド、パキスタン市場への輸出版売ビジネス創出